

研修医ニュース 11月号



2010・11・8 宇部協立病院医師研修委員会発行

医学生との学習会「坂田塾」



医学部高学年と鑑別診断について学ぶ勉強会です。みんな勉強熱心で、提示した症例でもどんどん答えてくれました。人に教えるということはとても楽しいことだと、再認識しました。

おまけに、学生さんと一緒に自分の症例を振り返ることでこっちも勉強になり一石二鳥(!?)



医学生担当者 Kさんと
打ち合わせ



地協青年ジャンボリー参加しました



徳島に行きました。山口からは5人の参加。多くの参加者は20代前半の若い職員ですが、

山口の参加者はアラウンド30(アラサー)でした。(笑) 若さについて行けない...

とか思いつつ、他県の友人ができた楽しい旅でした。



研修あれこれ

他職種カンファレンス

フォローアップ外来

まちかど健康チェック

社保事例検討会

エコ一年内に
50例 めざす

サマリーやレポートが
遅れている

机の上が、きち
やない(泣)



一杉先生、CVC(大腿静脈)自立

健康フェスタ



いっそ、さすがしいくらい土砂降り。皆さん測定に夢中で相談はポチポチ。介護されている親のことを聞かれました。「物忘れ外来」を紹介しました。

臨床研修交流会参加しました(大阪)

全日本民医連主催の交流会に参加しました。6か月の研修を振り返り、**反省と改善してきたこと**と、**これからの展望について発表**。自分達の立ち位置を確認するのに、よい試みであった。2日目は福井大学の「寺澤秀一先生」の講演があり、初期、後期研修に当たる指導医又は研修医がどうあるべきかについて楽しく聞かせて頂いた。



研修そのものに対する見方が変わった。すごく刺激になった。日常の仕事を業務とせず学びとっていく姿勢を持ち続けないと。初期研修を取り巻く情勢についても学んだ。

追記: 寺澤先生の講演から～

教育姿勢の転換: 研修指導者は、初期には自分が受けた筋金入り教育を捨てて、全ての人に受け入れられる、人格を重んじる教育に徹し manpower 確保に努める。manpower 確保ができるにつれ筋金入り教育を行う。